

めだか大学通信 18号

2013/08 岡田京子

ご無沙汰しています。元気ですか。皆さん旅行や仕事で、結構忙しい夏を送られているようですね。突然ですが、私は8月のお盆の頃、横山孝子さんと「わらび座」を訪ねる旅をすることになりました。久しぶりの旅です。西馬内盆踊りにも行けそうで嬉しいです。

6月16日に「にんじん畑」四人が、啄木の短歌につけた自作品を持って、鈴木たか子さんの「日曜版」に出演しました。「にんじん」としてはお初の外部？出演で、いろいろ新しい体験をされたようです。その報告をまず乗せます。

日曜版に参加して

名取真理子

仲間内ではなく、初めて人前で歌う ということで、ドキドキ…。おまけに他の人の演目は滝廉太郎にショパンと…最初は場違いな所に来てしまったのではないだろうか、という気持ちになりました。(やはりクラシックコンプレックス?)

しかし、鈴木さんの挨拶や、にんじん畑で見知った顔もありで、少し気持ちもほぐれ、皆さんの演奏も楽しめました。

にんじん畑のうたは、4人で創り上げられたということで、よかったとおもいます。私にとって、久しぶりのうたでした。上原家での練習も含め、久しぶりに心をこめてうたったという気持ちです。各人の啄木の歌を(自分も含め)もう一度度味わい、また、好きになったという想いです。歌は、唄わないとだめなのだと思います。

増田さんに伴奏をしてもらったのも、良かったです。

これから、積極的に、このような場に参加したいかということ、そうでもありませんが、そのための練習はとても楽しいです。ありがとうございました。

日曜版参加の感想

上原 涼子

岡田先生との繋がりでの合同会に参加して歌ったことはありましたが全く面識のない出演の方達の中に参加してにんじん畑のメンバーで歌うのは初めての経験でした。前もって練習をしっかりとっていたこともあり、又少人数でもあり「みんなでうたいきれた」感がありました。自分たちらしく真面目？に歌えた、という達成感でしょうか。声楽家のように歌った方、ピアノを弾く方などの中で四人が声を合わせ歌った事が良かったと思いました。

「詩と曲とがよく合っていた」「違った雰囲気ですごく良かった」などの感想を聞いた方からいただきました。早く終わらせて帰りたいと思っていた私でしたが新しい経験ができ、こんな気持ちもたまにはいいかな、と思えました。

にんじん畑・日曜版にデビュー

増田 康子

6月16日、杉並第十小学校音楽室にて。

出演者は、

高田浩さん ピアノ (ショパン前奏曲より)

リンゴっこ倶楽部 オリジナルソング(幸せ宅急便)と斉太郎節の踊り

塚越一太郎さん ギター弾き語り(鳳仙花 家路)

谷内久喜雄さん ギター弾き語り

(北の宿から・花の木の森 カントリーロード)

寒河江淳二さん 歌 (テノール 滝廉太郎作品)

鈴木たか子先生 ピアノ (MINYO より)

にんじん畑 石川啄木の短歌に曲をつけた作品

上原さんのお宅で練習させていただいたときに、岡田先生から指摘された伴奏の注意点は、家でも練習して臨んだのですが、本番後にも鈴木先生から同じことを指摘されてしまいました。

伴奏が歌う人に沿っていない、せっかく歌う前に朗読をしているのに、朗読の余韻を味わう間もなく前奏が入ってしまっている。(聴く人にも沿っていない)

自分の歌を歌う時と、人の伴奏をする時とで弾き方が違う。特に人の伴奏に旋律を弾きすぎている。アルペジオを入れるなど、へんかをつけてあげてもいい。

人の伴奏をするので、間違っはいけないという方にばかり気持ちがいってしまっていたと思います。

日曜版の翌日に、時間があつたので「リンゴっ倶楽部」仙台復興支援コンサートに向けて「幸せ宅急便」の練習をしましたが、さっそく先生に指摘されたことが、こちらの歌のスキルアップにも繋がりました。

二人で交互に歌うところだらけの歌ですが、相手の歌の後にそれを受け取りながら歌うことで、歌に気持ちがこめられてくるのが良くわかりました。

一人で孤独に練習していると、勝手に早くなったり遅くなったりしてしまうということが良くわかりました。

また、フルートの演奏では伴奏をやってくれる人がいないとカラオケを使いますが、これもカラオケとはいえ一緒にやっているつもりになるだけで格段にいい演奏に

なり、ちょっとびっくりしました。

「先生にはいろいろいわれたけれど、4人の歌はとても良かったよ」と、お世辞を言ったことのないミッチーさんが翌日言っていたので、本当はよかったのだと思います。

もう一度やらせてもらえればきっと伴奏の方ももっとうまく行くと思います。

日曜版に参加して

渡辺ミヨ子

「にんじん畑」として、人前でそして外へ出での出演は、珍しく新鮮でとまどいながらも、とても楽しい会になりました。去年の11月の100回記念コンサートでは、風邪のため全然声が出なくなり、歌で参加することが出来ず、すごく残念でした。

今回は、増田さんがみんなの伴奏に挑戦することになり、音合わせに上原さんのお宅で練習したりしました。当日も、少し早めに集まり、会場近くの公園でリハーサルをしたのも良かったです。

私は「さいはての」の、「さ」の音を高く覚えていたようで、増田さんたちに言われて気がつき、本番には注意をして歌いました。私たちの歌は短いので、朗読を入れたり、一人で歌ったりみんなで一緒に歌ったり、くり返し繰り返して歌い、歌も広がっていきました。

出演順番は最後となり、皆さんの演奏もじっくり堪能しました。一人ではないので、心強かったです。増田さんの「にんじん畑」の紹介、上原さんの「ころよく」から始まりました。声がよく出ています。そして日に日に元気になった名取さんの、「雨に濡れし」、渡辺の「さいはての」、最後に弾き語り増田さんの「ころよく」と無事終わりました。

そして感想など聞きあいました。「にんじん畑」のうたは、おおむね皆さんに伝わった感じでした。構成がよかった、みんなそれぞれ違っている等の声がありました。鈴木さんからは、伴奏について、タメがあればもっと良くなるとアドバイスも頂きました。

今回は「にんじん畑」4人以外は男声ばかりの出演でした。ショパンのピアノ演奏、滝廉太郎の歌曲、塚越さんのやさしい歌声、谷内さんの久々の歌声、ミッチーさんと、少しテレながらの増田さんの「リンゴっこ倶楽部」、そして鈴木さんの「MIN、YO」と盛りだくさん堪能しました。いろいろの人がいろいろな音楽を掲げていて、育んで行く場であり良い会でした。増田さんありがとうございました。